

登録コード	L2963200	開講年度	2026				
担当教員	中島 暉			副担当			
授業科目	中国語コミュニケーション中級						
英文授業名	Chinese Oral Communication(Intermediate)						
授業タイトル							
単位数	1	対象学生		講義期間	前期	曜日・時限	木曜・2時限
講義室	人文201演習室		遠隔授業科目		読替科目	読替科目は履修案内を確認すること	
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			【授業の達成目標】			
	2022Lカリ, 2021Lカリ, 2020Lカリ 【2022年度以前加わった対象】グローバル社会において、多様な文化を理解し、自らの文化を発信できる外国語能力			・中国語初級で学習した内容（基本的な文法・会話など）を確認し、復習するとともに、さらにレベルアップした会話・リスニング・作文など実際に使える中国語を身につけます。 ・中国語学習を通して異文化への理解を深めることも目標とします。			
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ, 2023Lカリ						
	【2023年度以降加わった対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門の学力が身についている。 【思索力・受容力・批判力】			幅広い範囲の話題や比較的時間長い会話または文書の聞き取りと理解ができるようになることを目指します。			
	【2023年度以降加わった対象】必要な情報を的確に収集し、理解し、発信する力が身についている。【メディアリテラシー・コミュニケーションリテラシー・外国語能力】			中国語の会話に重点を置き、座学に加えてロールプレイを行い、より自然な言い回しや流暢なコミュニケーションができるようになります。			
	【2023年度以降加わった対象】専門の学力を基盤とし、持続可能な社会を実現するための課題に取り組む力が身についている。 【開拓力・企画発想能力】			中国語を用いて日常的事柄や自らの考えについて話すことができるようになることを目指します。			
授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
全学横断特別教育プログラム	ローカル・イノベーター養成コース						
授業の概要	本授業はテキストを用いて、その内容を「聴く・話す・読む・書く」という練習を繰り返します。より多くの語彙、豊かな会話表現や比較的時間長い文章の読解できる能力を身につけます。 必要に応じて、音声教材・映像で中国社会・中国文化を紹介します。異文化への理解を深めていきます。						
授業計画	第1～2回 ガイダンス、自己紹介、第1課 大学生活 第3～4回 第2課 大学の時間割 第5～6回 第3課 朝ごはん 第7～8回 第4課 お茶を飲む 第9～10回 第5課 飲食 第11～12回 第6課 生活習慣 第13～14回 第7課 交通 第15回 前期まとめ、授業アンケート実施 第16回 期末試験						
成績評価の方法	平常点（会話・リスニング・問題回答など）を3割、小テストを3割、期末試験を4割で総合的に評価します。						
成績評価の基準	・卓越している（S）： 授業内容を十分に理解し、学習した内容を90%以上ができる。 ・かなり上にある（A）： 授業内容を理解し、学習した内容を80%以上ができる。 ・やや上にある（B）： 授業内容のおおよそを理解し、学習した内容を70%以上ができる。 ・その水準にある（C）： 授業内容を理解し、学習した内容を60%以上ができる。						
事前事後学習の内容	・テキストの内容を事前に調べ、単語と本文・和訳を予習してください。 ・授業後に学習した内容を必ず復習してください。						
履修上の注意	・中国語初級レベルの既習者が望ましいです。 ・テキストの本文を事前に音読して来てください。						
質問、相談への対応	授業の前後に対応します。 またはメールにて対応します。 メールアドレス hui_nakajima@shinshu-u.ac.jp						
教科書	『ことばと文化 一挙両得 中級中国語』 陳淑梅/陸薇 著 朝日出版社 2200円（税別） ISBN978-4-255-45289-0						
参考書	必要に応じて、プリントを配布します。						